

アメリカの風に乗って「打瀬船」大太平洋を渡る

松浦 有毅



「大正二年（一九一三）五月二十日、一葉の魚船「打瀬船」天神丸・長さ十五米でアメリカ大陸に夢とロマンを胸に秘め、浦人十五人が（兵糧）米二十表千魚副食物、水八十荷（四斗樽二十丁）を積み込みこの浦を船出した。伊豆大島で必要品を補給これを最後に潮流と帆・磁石（北針）を頼りに怒濤渦巻く太平洋横断の途に、覆没せんとすること幾回となく、大波激浪と戦うこと五十八日間、遂にサンフランシスコ北のポイント、アレナに上陸する。略：ここにその史実を銘し、先人の時代を切り拓いた進取の気性、不屈の精神を尊い「精神文化」として受継ぎ、浦人の明を拓く心の道標としたい。」とは打瀬船旅立ちの浜源蔵前（八幡浜市真網代）に立てられている



八幡浜港に停泊している打瀬船（底引き網）。トロール漁法の原型である。

記念碑並びに説明板である。又、「太平洋の怒濤を乗り切り加州北部の海岸に上陸、密入国を企てたる者：略：目下エンゼル島（サンフランシスコ沖）に拘禁に

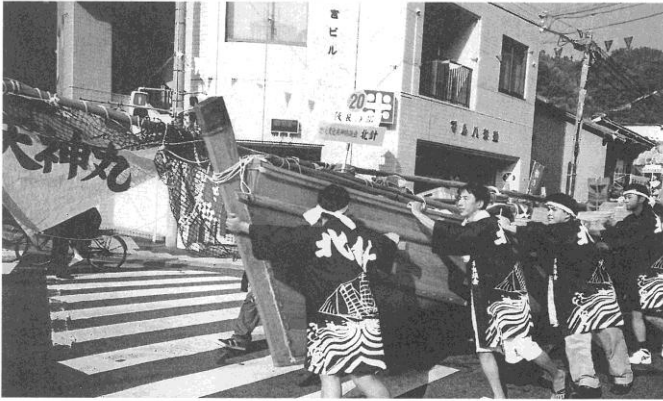
て：彼らの所業は法を犯せるも、其の決死の勇氣に云たりては当局の米人でさえ、コロンブスのアメリカ発見にもあるまじき奇蹟なりと感嘆しつつあり、我國の幕末時

代にてもあらば歴史の一ページを埋むべき壮挙というべし」と、大正二年八月十四日アメリカでの日系新聞「日米・新世界」で報じられる。

更に外務省に残っている報告書によると、「彼等密航の次第は違法犯なるも其の大膽なる行為には非常に感激しており」と印され更に「流石は日東海国男児」とアメリカにおける日系人の勇気を鼓舞、同胞有志による義援金の広告募集が始まるのである。

こうした同情の気運が高まりアメリカ政府は九月四日急遽チャイナタウン号にて日本へ強制送還九月二十三日横浜へ帰ってくるのである。この先人の快挙から五十年後の昭和三十七年八月十二日、九十二日間の航海のすえ、神戸からサンフランシスコへと太平洋の単独横断をなしたとげた、堀江謙一青年が現われ、一夜にして英雄となった。

それにしても当時（一九二一）五の間に八西地方から六隻の打瀬船が次々と太平洋を渡り切っているのである。このような日本の伝統的和船（漁船）で太平洋を自



アメリカ密航打瀬船 長さ15mの1/2の模型打瀬船を作り若者によるイベント参加のアピール

「出て行った」その背景は、勿論

豊かな、地域のリーダーの人達が先駆者なのである。移民、自ら

難となるのである。大正二年九月の愛媛新報「大膽なる米國密航者と語る」によれば

「アメリカへ行きたくし旅券は取れず然らば最後の手段」と様々な渡航密航が続出するのである。

「アメリカへ行きたくし旅券は取れず然らば最後の手段」と様々な渡航密航が続出するのである。

「アメリカへ行きたくし旅券は取れず然らば最後の手段」と様々な渡航密航が続出するのである。

「アメリカへ行きたくし旅券は取れず然らば最後の手段」と様々な渡航密航が続出するのである。

「アメリカへ行きたくし旅券は取れず然らば最後の手段」と様々な渡航密航が続出するのである。

「アメリカへ行きたくし旅券は取れず然らば最後の手段」と様々な渡航密航が続出するのである。

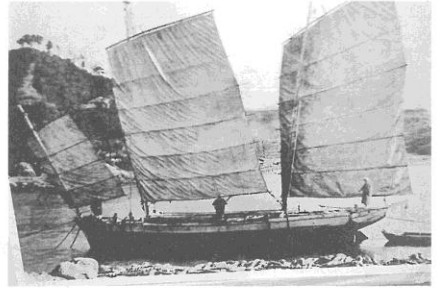
「アメリカへ行きたくし旅券は取れず然らば最後の手段」と様々な渡航密航が続出するのである。

「アメリカへ行きたくし旅券は取れず然らば最後の手段」と様々な渡航密航が続出するのである。

「アメリカへ行きたくし旅券は取れず然らば最後の手段」と様々な渡航密航が続出するのである。

「アメリカへ行きたくし旅券は取れず然らば最後の手段」と様々な渡航密航が続出するのである。

「アメリカへ行きたくし旅券は取れず然らば最後の手段」と様々な渡航密航が続出するのである。



帆を全開にした打瀬船



カンカン帽を被り、打瀬船で語り合うアメリカ帰りの人達

このように当地方の出身者が際立って多いのは、ほかでもない大成功者、西井久八翁の絶大な影響であるのだが意外と知られていない。市内のお四国山には久八翁の恩義に報い、

北米西海岸には八幡浜市を中心とした近隣の出身者が多数活躍しているが「八幡浜市誌」によると当地方の人達の二、四世を合わせると実に一万人近くにもなる。

偉大な先覚者 西井久八翁

北米西海岸には八幡浜市を中心とした近隣の出身者が多数活躍しているが「八幡浜市誌」によると当地方の人達の二、四世を合わせると実に一万人近くにもなる。

香港シンガポールを経てヨーロッパに到着、アメリカが有望と六ヶ月を要し明治十二年ついに米國オレゴン州ポートランドに上陸する。日本人未到の地で懸命に働き、「ストアール洋食店」を開く。更に農場経営その他数々の事業に成功。一躍大実業家となり巨利を得る。大成功者となった久八は明治二十二年、妻を迎えるために帰国「みよ」と結婚、若者達に米國の有望性を説き数名を同行して帰る。久八の成功談は近隣の村々に広がり若者達の夢を盛り上げ、久八を頼り「私には西井さんという知り合

香港シンガポールを経てヨーロッパに到着、アメリカが有望と六ヶ月を要し明治十二年ついに米國オレゴン州ポートランドに上陸する。日本人未到の地で懸命に働き、「ストアール洋食店」を開く。更に農場経営その他数々の事業に成功。一躍大実業家となり巨利を得る。大成功者となった久八は明治二十二年、妻を迎えるために帰国「みよ」と結婚、若者達に米國の有望性を説き数名を同行して帰る。久八の成功談は近隣の村々に広がり若者達の夢を盛り上げ、久八を頼り「私には西井さんという知り合

香港シンガポールを経てヨーロッパに到着、アメリカが有望と六ヶ月を要し明治十二年ついに米國オレゴン州ポートランドに上陸する。日本人未到の地で懸命に働き、「ストアール洋食店」を開く。更に農場経営その他数々の事業に成功。一躍大実業家となり巨利を得る。大成功者となった久八は明治二十二年、妻を迎えるために帰国「みよ」と結婚、若者達に米國の有望性を説き数名を同行して帰る。久八の成功談は近隣の村々に広がり若者達の夢を盛り上げ、久八を頼り「私には西井さんという知り合

香港シンガポールを経てヨーロッパに到着、アメリカが有望と六ヶ月を要し明治十二年ついに米國オレゴン州ポートランドに上陸する。日本人未到の地で懸命に働き、「ストアール洋食店」を開く。更に農場経営その他数々の事業に成功。一躍大実業家となり巨利を得る。大成功者となった久八は明治二十二年、妻を迎えるために帰国「みよ」と結婚、若者達に米國の有望性を説き数名を同行して帰る。久八の成功談は近隣の村々に広がり若者達の夢を盛り上げ、久八を頼り「私には西井さんという知り合

まつらら・ゆうき 一九四〇年八幡浜市に生まれる。異業えひの勤務を経て、一九六二年みかん專業農家 一九九三年地域文化振興協議会「北針」を興す。一九九五年より八幡浜市教育委員。

夢を掴み戻ってきた様々な人達、楯外れの度肝を抜く旅人がいて今のふる里があることを誇りたいと思ふのである。

私達の先祖は百年前から国際人であった。アメリカの風に乗って夢を掴み戻ってきた様々な人達、楯外れの度肝を抜く旅人がいて今のふる里があることを誇りたいと思ふのである。

私共は三度の訪米、在米者の方々の協力を得て打瀬船漂着地ポイント・アレナ市の理解のもと日本と米國太平洋を結ぶ両記念碑の建立、先人の足跡調査交流を深める度に、異境の地で血と涙と汗で築かれた先人への感謝と顕彰継承の念を強くしているところである。

私共は三度の訪米、在米者の方々の協力を得て打瀬船漂着地ポイント・アレナ市の理解のもと日本と米國太平洋を結ぶ両記念碑の建立、先人の足跡調査交流を深める度に、異境の地で血と涙と汗で築かれた先人への感謝と顕彰継承の念を強くしているところである。

私共は三度の訪米、在米者の方々の協力を得て打瀬船漂着地ポイント・アレナ市の理解のもと日本と米國太平洋を結ぶ両記念碑の建立、先人の足跡調査交流を深める度に、異境の地で血と涙と汗で築かれた先人への感謝と顕彰継承の念を強くしているところである。

私共は三度の訪米、在米者の方々の協力を得て打瀬船漂着地ポイント・アレナ市の理解のもと日本と米國太平洋を結ぶ両記念碑の建立、先人の足跡調査交流を深める度に、異境の地で血と涙と汗で築かれた先人への感謝と顕彰継承の念を強くしているところである。

私共は三度の訪米、在米者の方々の協力を得て打瀬船漂着地ポイント・アレナ市の理解のもと日本と米國太平洋を結ぶ両記念碑の建立、先人の足跡調査交流を深める度に、異境の地で血と涙と汗で築かれた先人への感謝と顕彰継承の念を強くしているところである。

私共は三度の訪米、在米者の方々の協力を得て打瀬船漂着地ポイント・アレナ市の理解のもと日本と米國太平洋を結ぶ両記念碑の建立、先人の足跡調査交流を深める度に、異境の地で血と涙と汗で築かれた先人への感謝と顕彰継承の念を強くしているところである。

私共は三度の訪米、在米者の方々の協力を得て打瀬船漂着地ポイント・アレナ市の理解のもと日本と米國太平洋を結ぶ両記念碑の建立、先人の足跡調査交流を深める度に、異境の地で血と涙と汗で築かれた先人への感謝と顕彰継承の念を強くしているところである。

私共は三度の訪米、在米者の方々の協力を得て打瀬船漂着地ポイント・アレナ市の理解のもと日本と米國太平洋を結ぶ両記念碑の建立、先人の足跡調査交流を深める度に、異境の地で血と涙と汗で築かれた先人への感謝と顕彰継承の念を強くしているところである。

私共は三度の訪米、在米者の方々の協力を得て打瀬船漂着地ポイント・アレナ市の理解のもと日本と米國太平洋を結ぶ両記念碑の建立、先人の足跡調査交流を深める度に、異境の地で血と涙と汗で築かれた先人への感謝と顕彰継承の念を強くしているところである。

私共は三度の訪米、在米者の方々の協力を得て打瀬船漂着地ポイント・アレナ市の理解のもと日本と米國太平洋を結ぶ両記念碑の建立、先人の足跡調査交流を深める度に、異境の地で血と涙と汗で築かれた先人への感謝と顕彰継承の念を強くしているところである。

私共は三度の訪米、在米者の方々の協力を得て打瀬船漂着地ポイント・アレナ市の理解のもと日本と米國太平洋を結ぶ両記念碑の建立、先人の足跡調査交流を深める度に、異境の地で血と涙と汗で築かれた先人への感謝と顕彰継承の念を強くしているところである。